呉工業高等専門学校	開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	情報処理Ⅱ

科目基礎情報

科目番号	0138	科目区分	専門 / 選択必修
授業形態	講義	単位の種別と単位数	学修単位: 2
開設学科	機械工学科	対象学年	5
開設期	前期	週時間数	2
教科書/教材	内山　章夫　他 4 名　「学生のための C」（東京電機大学出版局）		
担当教員	吉川 祐樹		

到達目標

１．if 文による選択処理ができること.
２．for 文，while 文による反復処理ができること.
３．配列を用いたデータ処理ができること.
４．関数の作り方が分かること.
５．ポインタの使い方が分かること.
６．ファイル処理が分かること.

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	ユーザ関数について理解し，的確に関数を使いながらCプログラムを作成できる	ユーザ関数について理解できる	ユーザ関数について理解できない
評価項目2	ファイル処理について理解し，的確にファイル処理を使いながらCプログラムを作成できる	ファイル処理について理解できる	ファイル処理について理解できない
評価項目3	ポインタについて理解し，的確にポインタを使いながらCプログラムを作成できる	ポインタについて理解できる	ポインタについて理解できない

学科の到達目標項目との関係

学習・教育到達度目標 本科の学習・教育目標 (HB) 学習・教育到達度目標 本科の学習・教育目標 (HC)

教育方法等

概要	C言語を用いてプログラミングに必要な知識や技法を学ぶ．C言語を学ぶ上で必要なコンピュータの基礎知識を理解し，演習を通じてC言語でプログラムが書けるようになることを目的とする．本講義では，就職後も必要となるプログラム能力を身につけることができる.
授業の進め方・方法	講義および演習を基本とする. この科目は学修単位科目のため，事前・事後学習としてレポートを実施します.
注意点	演習を行う科目であるため，分からないことはその場で質問し，理解すること.

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	関数の作り方	引数のない関数を使ったプログラムを作成できる
		2週	関数の作り方	引数のある関数（戻り値あり）を使ったプログラムを作成できる
		3週	関数の作り方	引数のある関数（参照呼び出し）を使ったプログラムを作成できる
		4週	関数の作り方	配列の引き渡しを理解できる
		5週	関数の作り方	ユーザー関数を使った課題プログラムを作成できる
		6週	関数の作り方	ユーザー関数を使った課題プログラムを作成できる
		7週	中間試験	関数に関する問題を解くことができる
		8週	ポインタの使い方	ポインタの使い方が理解できる
	2ndQ	9週	ポインタの使い方	ポイントを使ったプログラムを作成できる
		10週	ファイル処理	ファイル処理が理解できる
		11週	ファイル処理	ファイル処理を使ったプログラムを作成できる
		12週	総合課題	総合課題のプログラム作成ができる
		13週	総合課題	総合課題のプログラム作成ができる
		14週	期末試験	総合的な問題を解くことができる
		15週	答案返却・解答説明	
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
専門的能力	分野別の専門工学	機械系分野	情報処理	プログラムを実行するための手順を理解し、操作できる。	4	
				定数と変数を説明できる。	4	
				整数型、実数型、文字型などのデータ型を説明できる。	4	
				演算子の種類と優先順位を理解し、適用できる。	4	
				算術演算および比較演算のプログラムを作成できる。	4	
				データを入力し、結果を出力するプログラムを作成できる。	4	
				条件判断プログラムを作成できる。	4	
				繰り返し処理プログラムを作成できる。	4	
				一次元配列を使ったプログラムを作成できる。	4	

評価割合

	試験	ポートフォリオ	相互評価	態度	その他	合計

総合評価割合	80	20	0	0	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0
専門的能力	80	20	0	0	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0